

## Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs

### 海外助成

### 2019年募集 応募要項

助成テーマ:「貧困の解消」に向けて取り組む NGO の組織基盤強化

## "A Better Life, A Better World"の実現に向けて

パナソニックは創業以来、常に「人」を中心に、その「暮らし」を見つめ、「A Better Life, A Better World」の実現に向けて、事業活動とともに企業市民活動を通じて社会課題の解決や、より良い暮らしの創造と世界中の人々の幸せ、社会の発展に貢献すべく取り組んでまいりました。

一方、グローバルでの社会課題を捉えると、2015年に国連で採択された2030年までの持続可能な開発目標である Sustainable Development Goals (SDGs) の目標1には、「貧困の解消」が掲げられており、新興国・途上国における絶対的貧困はもちろんのこと、先進国においても相対的貧困の深刻化により格差が広がりつつあるなど、その課題解決に向けた取り組みが急務となっています。

松下幸之助創業者も、企業の社会的使命として「生産者の使命は、この社会から『貧困』をなくしていくこと」と語っています。

本ファンドでは、社会において重要な役割を果たす NPO/NGO が持続発展的に社会変革に取り組めるよう、その組織基盤強化に特化して2001年より助成してまいりました。現在は、SDGs が掲げる「貧困の解消」に向けて取り組む NPO/NGO を対象に「海外助成」「国内助成」の2つのプログラムで、組織課題を明らかにする組織診断や、具体的な組織課題の解決、組織運営を改善するための組織基盤強化の取り組みに助成しています。「海外助成」では、SDGs の目指す「誰も取り残さない(No one will be left behind)」社会の実現に向け、社会課題の解決に取り組む NGO の組織基盤強化事業を応援します。

本ファンドでの組織基盤強化の取り組みを通じて、市民活動の持続発展、社会課題の解決促進、社会変革に貢献し、誰もが喜びを分かち合い、活き活きとくらす共生社会を目指してまいります。組織の自立的な成長と自己変革に挑戦する NPO/NGO の皆様からの応募をお待ちしております。

2019年4月

パナソニック株式会社  
特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター

## I.助成について

---

### 1. 助成の対象となる団体

新興国・途上国社会の貧困の解消を目指し、同国・地域の人びとがその生活の中で直面する様々な権利(\*)へのアクセスの不均衡の是正や貧困層や脆弱な状況にある人びとのレジリエンスの向上に資する活動を他のステークホルダーと協働しつつ、その実現に向けた自己変革に挑戦する NGO で以下の要件を満たすものとします。

\*世界人権宣言で保障された権利、各国・地域の社会保障制度、経済活動等

- ① 民間の非営利組織であること(法人格の有無や種類は問わない)
- ② 新興国・途上国・地域で貧困の解消に向けて取り組んでいること。調査提言・キャンペーン活動をしている場合やネットワーク型団体は日本国内での取り組みのみでも対象とする。
- ③ 日本国内に主たる事務所があること
- ④ 団体の設立から 3 年以上を経過していること
- ⑤ 有給常勤スタッフが 1 名以上であること
- ⑥ 政治、宗教活動を目的とせず、また、反社会的な勢力とは一切関わりがないこと

\*財政規模 1,000 万円以上の団体を想定していますが、必ずしも要件ではありません。

### 2. 助成の対象となる事業とコース

貧困の解消に向け他のステークホルダーと協働する意欲がある団体で、自らの組織基盤強化のために、第三者からの多様で客観的な視点を取り入れた組織診断や組織基盤強化を行う団体を応援します。

第三者とは、応募団体が独自に選定する NPO/NGO 支援機関や NPO/NGO の組織経営の実践者、または NPO/NGO 経営支援の専門家等を指します。助成事業のコースは次の 2 つです。

#### (1)組織診断からはじめるコース:

第三者による組織診断を行い、組織全体を分析し課題と原因を明らかにする。そしてこの組織診断の結果を踏まえ、第三者の助言または指導を受けて、課題解決の方向性を検討し計画を立案する。

#### (2)組織基盤強化コース:

組織基盤強化に関する中長期計画に基づく具体的な組織運営上の課題解決に向けて、第三者の協力を得ながら具体的な取り組みを行う。

\*海外の事業地のカウンターパートと一緒に取り組むものも対象とします。但し、本助成事業の実施や費用の執行管理の責任は応募団体が担います。

本プログラムで支援する組織基盤強化のイメージ:

- ・人材面(人数増加・能力向上等)、
- ・事業面(連携先拡大・国際基準の導入等)、
- ・資金面(財源の多様化・自己財源の増加等)、
- ・ガバナンス面(中長期戦略策定・ミッションやビジョン見直し・共有等)他。

### 3. 助成金額とその使途

2019年の新規・継続助成の助成総額は 1,350 万円を予定しています。そのうち、アフリカ諸国に貢献する団体を 2 団体以上助成する予定です。

助成金の使途は、組織診断や組織基盤強化に必要な経費・人件費、コンサルティング費、助成事業を進める際に必要な事務諸経費などに使用していただけます。なお、コースごとの上限金額は次のとおりです。

- (1)組織診断からはじめるコース： 8ヶ月で上限 100 万円  
(2)組織基盤強化コース： 1年間で上限 200 万円

#### 4. 助成期間

- (1)組織診断からはじめるコース： 2020年1月1日～2020年8月31日  
(2)組織基盤強化コース： 2020年1月1日～2020年12月31日

(1) 組織診断からはじめるコースで助成を受けた団体は、その後(2)組織基盤強化コースに応募することが可能です。(2)組織基盤強化コースは、翌年更に1年の継続助成の申請ができます。何れの場合も継続助成の選考に基づき決定します。

#### 5. 助成決定から助成終了までのスケジュール

- 2019年12月 : 助成決定・覚書締結  
2020年1月 : 助成事業開始・贈呈式(下旬)  
2020年6-7月 : 中間インタビュー  
2020年8月 : 継続助成応募締め切り、組織診断コース終了  
2020年12月 : 組織基盤強化コース終了  
2021年2-3月 : 成果報告会

\*助成開始時と助成終了後には助成事業の効果測定を行うための調査にご協力いただきます。

報告書提出：

- (1)組織診断からはじめるコース 中間報告:2020年5月末 完了報告:2020年9月末  
(2)組織基盤強化コース 中間報告:2020年7月末 完了報告:2021年1月末

## II.選考について

---

### 1. 選考方法

提出された応募書類にもとづき、学識経験者、実務経験者などで構成された選考委員会にて選考を行います。また、選考過程では団体資料の請求や事務局による応募団体へのヒアリングを実施する場合があります。

### 2. 選考基準

- (1)応募する団体が「助成対象団体」の要件を満たしているか
- (2)応募する団体が行う活動は「貧困の解消」を目指す SDGs の理念に合致し意義が高く先駆性や独創性があるか
- (3)応募する企画内容が以下の点で高く評価されるかどうか
  - ・ 組織診断や基盤強化に取り組む背景・問題意識・目的が明確であるか
  - ・ 組織診断や基盤強化に取り組む時期として適切かどうか
  - ・ 組織診断や組織基盤強化に関する目標が明確で、実現方法が適切であるか
  - ・ 組織診断や基盤強化のスケジュール・体制・予算の実現可能性

- ・ 組織全体の変革の可能性(組織診断や基盤強化に取り組むことで組織全体を変革し、貧困のない世界づくりに貢献することが期待できるか)
- ・ 組織診断や基盤強化に取り組む団体の事例としての有益性・波及効果

### 3. 選考結果

選考結果は 2019 年 12 月中旬に文書にて連絡いたします。

## III. 応募について

---

### 1. 受付期間と応募方法

応募受付期間：2019 年 7 月 16 日(火)～7 月 31 日(水)18 時【必着】

応募方法：郵送(持参不可)

\*組織基盤強化ワークショップ&公募説明会開催：2019 年 5 月-6 月(組織基盤強化ワークショップ時などに本ファンドの説明を実施します。)詳細はウェブサイトをご参照ください。

### 2. 応募書類作成の用紙・手引の入手方法

応募用紙・手引は、パナソニックのウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

[http://www.panasonic.com/jp/npo\\_summary.html](http://www.panasonic.com/jp/npo_summary.html)

\*ダウンロードできない場合は、7 月 10 日(水)までに協働事務局まで、電子メールにてご連絡ください。

### 3. 応募書類

「応募要項」・「応募書類作成の手引」をお読みの上、必要事項を記入してください。

- ・用紙：A4 で片面・白黒印刷・クリップ留め(ホチキス留めは厳禁)
- ・部数：2 部
- ・提出書類：応募用紙(様式 1・様式 2) / 決算報告書(直近 2 年分)

### 4. 応募書類の送付・ご相談・お問合せ先

認定 NPO 法人 国際協力 NGO センター(JANIC)

「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs 海外助成」協働事務局(担当:伊藤・塚原)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 アバコビル 5 階

Email : [pnsf-sdgs@janic.org](mailto:pnsf-sdgs@janic.org) Tel : 03-5292-2911 (平日 10:00～12:30、13:30～17:00)

\*個人情報の取り扱い・問い合わせ先については次項をご覧ください。

**総合事務局 パナソニック株式会社** <https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship.html>

パナソニックは、「A Better Life, A Better World」の実現に向けて、事業活動とともに企業市民活動を通じて、社会課題の解決や、より良い暮らしの創造と世界中の人々の幸せ、社会の発展に貢献することを目指しています。私たちは製品・技術開発やモノづくりで培ったノウハウ・リソースを活かし、世界的な問題である貧困などの社会課題にも目を向け、誰もが歓びを分かち合い、生き活きとくらす「共生社会」を目指して、人材育成や機会創出、相互理解をテーマとする企業市民活動をグローバルに展開しています。

**海外助成・協働事務局 認定 NPO 法人 国際協力 NGO センター(JANIC)** <http://www.janic.org/>

JANIC(ジャニック)は、1987年に創設された、100団体以上の日本の NGO を正会員とする、日本有数のネットワーク NGO です。持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、多様な NGO の力の最大化を図ると共に、ネットワークをつくることで、NGO 間、政府や企業、労働組合、自治体等との連携・協働を進め、社会課題解決の促進を目指しています。

## 「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」 応募に関する個人情報の取り扱いにつきまして

Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs への応募の際に頂戴いたしました個人情報(以下「個人情報」といいます)の利用に関する取り扱いを以下のとおりお知らせします。

### (1) 取り扱い会社名および事業場名

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部

### (2) 個人情報総括責任者もしくはその代理人の氏名又は職名、所属および連絡先

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部 部長

### (3) 個人情報の利用目的

応募企画書に記入いただきました個人情報は、次の目的に利用します。

- ① 「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」の運営や、応募いただいた皆様への連絡(応募受付、選考、選考結果通知、助成手続き 等)に利用します。  
ご連絡は、電子メール、お電話、FAX、郵便等で差し上げます。
- ② 応募いただいた皆様へ、パナソニックが主催、共催、協賛、協力する社会貢献プログラムの案内等の情報を電子メール、郵便等で差し上げることがあります。

### (4) 個人情報の第三者提供について

取得した個人情報は第三者に提供することはありません。

### (5) 個人情報の取扱い委託について

取得した個人情報の取扱いを、「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」の運営、選考のために必要な業務に限定して、委託することがあります。

### (6) 開示対象個人情報の開示等および問い合わせ窓口について

ご本人からの求めにより、当社が保有する開示対象個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加または削除・利用の停止・消去(「開示等」といいます。)に応じます。開示等に応ずる窓口は、以下の「お問い合わせ先について」をご覧ください。

### (7) お問い合わせ先について

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部

〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル 電話 03-3574-5665

上記、[個人情報の取扱いについて]に同意のうえ、「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」の応募用紙に必要事項を記載ください。

以上